「中小企業デザイン開発思考cognition」—思考プロセスの再構築で新商品の飛躍を—

参加申込書

* 講座の目的、趣旨を理解し、受講（全７回）について、以下のとおり申込みます。

【締切】平成２９年１１月７日（火）１７時必着

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会社名 |  | ※受付番号 |  |
| 電　話 |  |
| 代表者名 |  | F A X |  |
| 所在地 | 〒 |
| 従業員数 | 正社員　　　　人/パート等　　　　人 | 資本金 | 万円 |
| 参加者（２名まで参加が可能です） |
| 〈フリガナ〉氏　名 |  | 部署 |  |
|  | 役職 |  |
| E-mail | 　　　　　　　　　　　　　　　　＠ |
| 〈フリガナ〉氏　名 |  | 部署 |  |
|  | 役職 |  |
| E-mail | 　　　　　　　　　　　　　　　　＠ |
|  |
| 地域創造ファンド採択事業名 |  | 採択年度 | 平成　　　年 |
| ファンド種類 | * 地域支援事業　 □　重点プロジェクト
 | ビジネスタイプ | * B to B　□　B to C
 |
| 商品名 |  |
| 上記商品の希望小売価格（税別） | 円 | 現在の販　路 | * 卸　　　　　　　□　スーパー・量販店
* 百貨店・専門店　□　小売店　□　ネット通販
* 自社店舗　　　　□　その他（　　　　　　　）
 |
| 月間（平均）販売数 |  | 商品開発担当 | * 専任　　□兼務　　□なし
 |
| 製造元 | * 自社
* 自社（一部委託）
* 他社
 | 知財権 | * 特許　　□実用新案
* 意匠　　□商標
* なし
 | デザイン顕彰暦 | □あり顕彰名(　　　　　) □なし |

* 申込書とともに商品・サービス等の内容がわかる写真、チラシ等をご提出ください。

１．おおさか地域創造ファンド助成事業実施時に開発した「商品」についてご説明ください。

|  |
| --- |
| （できるだけ具体的にご記入ください。） |
| ２．おおさか地域創造ファンド助成事業実施時（開発当初）の「商品」の市場分析についてご記入ください。 |
| ○ 自社の強み（技術、素材、製法、知財、人材など）（ユーザーニーズや競合他社の商品と比較して客観的にご記入ください。）○ 商品コンセプト（商品の特長、用途、機能、効果など）　　　（誰に対して、何を提供し、どのようなメリットをもたらすのか。）○ ターゲット（想定されるユーザー像や商品の購入先）　　　（年齢、性別、職業、既婚・未婚、世帯構成や嗜好など、設定している範囲でご記入ください。）○ 競合他社商品（企業名、商品名、価格等）　　　（競合商品との市場シェア（Ａ社○％、Ｂ社○％、…）も把握している場合はご記入ください。） |
| ３．上記２．を踏まえ、当初の市場分析について、「何を」どのようにすればよいと考えますか。 |
| （上記２．の各項目と明確に関連づけてご記入ください。） |
| ４．現在、事業が停滞している場合は、その理由を下記からお選びください。（複数選択可） |
| * 事業を続けるための資金の調達が難しくなった。
* 事業に対応できる人員が確保できなくなった。

□　商品開発に割く時間が確保できなくなった。* 商品の開発自体が、市場導入まで進めなかった。

□　広報・宣伝がうまく進んでいない。□　強力な競合品や代替品が登場し、市場でのシェアが伸びない。 | □　販路開拓が思うように進んでいない。□　想定していた顧客ニーズと、商品が提供できるベネフィット（価値）に乖離があった。□　収益性に課題があり、必要十分な利益が確保で きない。* その他《具体的に》

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ５．上記３．４．を踏まえ、本講座「中小企業デザイン開発思考cognition」をどのように活用したいですか。  |
| （本講座受講による課題解決と合わせて、目標をどこに定めているかもご記入ください。） |

※　記入欄は必要に応じて行を増やしてください。